

民生支援「共に活動」

ペシャワール会 村上さん講演

【那覇】アフガニスタンで民生支援に取り組むNGOペシャワール会の村上優副会長

(琉球病院院長)は14日、那覇市の自治会館で講演した。同会代表の医師、中村哲さんがアフガンで30年にわたり、



村上優院長

ハンセン病根絶や難民医療、農業支援などに取り組む様子を紹介した。

中村さんは医療の枠を超えて活動。2000年の大規模干ばつを目の当たりにし、地元住民とともに用水路を開いて広大な土地を開拓。60万人の生活を救ったとされる。

村上さんは、大型重機を自ら運転し作業する中村さんの姿が「現地の人の共感を呼ん

でいる。指示だけではなく共に活動するのがペシャワール会だ」と説明。

「用水路建設は簡単ではないが、維持するのはもっと努

力が要る」と現地での苦勞の一端を紹介した。

用水路完成までの7年間をまとめたドキュメンタリー映画も上映された。